

ブレイクスルー思考における 目的について考える

2019.9 東京支部 松永

先日、東京支部のある会員からこんな質問を受けました

目的って何ですか？
目標と、どう違うのですか？

皆さんだったらどう応答しますか？
隣の方と少しだけ意見交換してみてください

その時の私の応答

目的: 目指すこと・ねらい……何のため

目標: 目的を達成するため目的を具体化したもの・ゴール
(具体化→SMART等数値化が望ましい)

※目的が達成できたか否かは目標を代替指標としなければ測定できない

※目的は目に見えないので目標で見える化しなければ実現・追及できない



目的とは① 辞書的定義(小学館デジタル大辞泉)

実現しようとしてめざす事柄
行動のねらい
めあて

目的と目標——めざすものの意では相通じて用いられる。

◇「目的」は、「目標」に比べ抽象的で長期にわたる目あてであり、内容に重点を置いて使う

◇「目標」は、めざす地点・数値・数量などに重点があり、より具体的

目的とは② 2nd editionでの記述

【2nd edition p137 Problem Substance and Problem Values】

Problems have two primary aspects, substantive and values.

① When we use the word **purpose**, we are talking about the substantive aspects of the problem, the array of missions or ends that can actually be accomplished through the activity under consideration.

② The values aspect of the problem encompasses the desires, aspirations, and needs that have made the substantive aspect a matter of concern. They motivate the desire to work on a problem.

【上記翻訳】

問題には主要な2つの側面がある。それは実態的側面と価値(観)的側面である。

① 本書の中で**目的**という言葉を用いる時は問題の実態的側面について述べている。すなわち、実際の行動を通して達成できる使命、または目的の系列のことを言っているのである。

② 問題の価値(観)的側面は、問題の実態的側面を関心の的にした欲望、願望そして要求などを意味するものである。これらによって問題を解決しようと動機づけられるのである。

目的とは② EBTでの記述

Cf:【EBT P142(原文は不明)該当翻訳部分と思えるところ】

目的に焦点を合わせることは、目的と価値観の関係を説明するのに役立つ。

すべての問題・課題・機会は主として2つの局面がある。

本質的・根本的的局面と価値的的局面である。

① 本質的的局面は基本的状態に焦点を合わせる。即ち変化を必要とする特定の状況で『誰が、何を、なぜ、何処で、如何に』を表す。

② 価値的側面は、個人や組織の欲望、向上心、信念を反映している。

価値観、欲望、向上心はもっと効果的な生解に変えたいと願う動機づけになる。

.....

例えば【物を移動する】という目的(根本・本質)は変わらないけれども、【素早く】など価値観によって解決策は大きく変化する。即ち価値観は解決策を決める重要な要素になる。

私見→目的とは本質的側面を指しているとの記述はないが・・・
私見→【物を移動する】ということは、【移動していない物】を【移動した物】に転換
することがだから、目的表現そのものにも、価値変化願望が含まれている

目的とは③ 異なるところでの記述

【2nd edition p128 “The Purposes Principle”】

* The word purpose has many connotations. (utility intent mission objective・・・)

* In Breakthrough Thinking, purpose encompasses , to some extent, all of these connotations and others, and goes a major dimension beyond.

【上記の翻訳】

目的という言葉は様々な意味を持っている(効用・意図・ミッション・目標)

ブレイクスルー思考では目的という言葉は、ある程度これらの様々な意味その他を含んでいる。目的の原則は現状に変革の可能性をもたらす人間への幅広い動機づけや結果を含んでいる。

cf:【EBT P131(原文は不明) 該当翻訳部分】

目的という言葉は、いろいろな意味がある(効用・意図・ミッション・目標)

EBTにおいては、これらの意味を含めて、それ以上の概念を考えている。「目的の原則」は、既存の状態に変化を創り出すための動機づけと結果を含んだり、新たな解決策や望ましい結果をもたらすシステムを含んでいる。

私見→様々な意味と目的展開という考え方が含まれているということ？

目的とは③ 企画の賢人での記述

【企画の賢人P112】

* ブレイクスルー思考でいうところの目的とは、そもそも本来そのシステムを「何をどうする」ものとしてデザインするか、ということです。

* 目的はそのシステムの存在意義であり、「根本」「本質」なのです。

目的は根本で、人間の良い悪いという価値判断を含まなく無色です。価値観は、色眼鏡で見る状態で、「良い悪い」の価値判断が入るようになります。

私見→人間が決めることなので同じだが、システムの視点で定義している？

ブレイクスルー思考における目的とは (私見のまとめ)

- ①『名詞(目的語)を(動作を表す他動詞)する』で表現することから
【その行動の意図(人間視点の表現)】
※日本語では『を』ではなく『に』とする表現もある→犬に触る
- ②言い換えれば『そのシステムは「何をどうするものか」という(システム作動)の存在意義(システム視点の表現)』ともいえる
- ③一般的な目的には、ある行動(本質)を通じて現状を理想に変えたいという人間の願望や欲求(価値変化)が含まれている
- ④本質を再定義するためにする目的展開では、本質部分だけで展開し、その後着眼決定した目的に対する変化願望を付加するという手順にしている(③とは別次元)

※価値観は目的に付随するので、目的を展開すると価値も変わるはず

(私見) 目的とシステム/目的と手段への投げかけ

【目的とシステムへの投げかけ】

システムモデルとシステムマトリクスにおける目的表示には、価値(観)が含まれていない

- システムモデルインプットに価値(観)を入れないと、価値が実現されない
- 未来解のコンセプトには価値(観)とその実現方法が込められているが、システムモデルの入力はコンセプトでないので、コンセプトはシステムモデル作成のヒントを得るだけのことか？

【目的と手段への投げかけ】

ブレイクスルー思考では、目的を達成する方法に手段という言葉は使っていない

(広い概念では解決策という言葉がそれにあたるのか？)

- 問題も解決策(=手段)も一つのシステムであり、固有の目的を持っているのであれば、その目的部分のみを抜き出し展開することは可能だが、それもあくまでシステム観に基づく目的展開であり、手段展開などありえない。